

- ◆企画名 ほっこり相談室の開室
日 程 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
場 所 総合学生会館凜風館 1 階 サポーターズルーム
参加者数 21 名 (ピア・サポータ)
目 的

大学生活というのは、流動的かつ密な対人関係の中で過ごす場所であり、その環境に上手になじむ事が出来ず、大学を自分の居場所とする事に困難を感じている学生も多い。そうした学生達が抱える「大学内に安心できる居場所がない」「学内の相談機関に行くほどではないが、誰かに話を聞いて欲しい」という様なニーズに応えるため、より身近な立場で話を聴く事を目的とする。

内 容

ほっこり相談室とは、本学の全ての学生を対象として、KU サポーターズのメンバーが来室された方々のお話を聴くために相談員として対応する相談室である。同じ関西大学の学生である、研修を受けたメンバーが相談員として対応する。

相談事の対応以外にも、少し誰かと話がしたいといった方の為の雑談の場や、お昼ご飯を一緒に食べる場等の提供も行っており、緊張せずに気軽に訪れてもらえるような相談室作りに努めている。

平成 24 年度は月曜日・水曜日・金曜日の週 3 回、午前 11 時から午後 5 時までほっこり相談室を開室している（試験期間等により、不定期な開室時間の変更、また緊急閉室もある）。平成 24 年 12 月末現在で延べ 110 件の来室があった。

感 想

相談室を利用して下さった方へのアンケート調査などは行っていないため、効果が客観的に感じられにくい活動であることが残念である。しかしこの 1 年間でリピーターとして何度も来室して下さる方も増え、居心地の良さを感じていただけていることは嬉しい。

「今日は来て良かったです」「近くを通ったので寄ってみました」というお言葉を頂ける事が何よりの励みであり、ピア・サポート活動を通して得られる大きなやりがいである。

改善点

利用者の方が上位年次生に固まっていることが問題点である。今後は、下位年次生を含めたさらに広い層への広報活動に力を入れていく必要がある。

また、メンバーが 20 名を越し、メンバーの中で経験や知識に差が生まれてしまっている。今後はメンバー内での研修や知識の共有も意識して行っていく。

